

## INFORMATION

### プラネタリウム春の番組

#### 電腦的大宇宙

天文学の研究で、コンピュータはどのように活躍しているのでしょうか。最新のシミュレーション映像を交えて紹介します。

4月12日(土)→7月13日(日)

平日	16:00
土曜日	13:30 17:30
日・祝日	11:30 15:30

### 今夜の星空と天文ニュース

今夜の星空の見どころと最新の天文情報。

土曜日	15:30
日・祝日	13:30

### キッズアワー

幼児～小学校低学年向け番組。

土曜日	11:30 (上映日に注意)
4月5・12・19日	「ドームくん わくせいりょうごう」
5月10・24日	「ドームくん わくせいりょうごう」
6月7・14・21日	「たなばたものがたり」

### MUSIC PLANET

ミュージック・プラネット

満天の星と心地よいサウンドが織りなすファンタジックなひとときをどうぞ。

4月「ゴスペラーズ特集」  
5月「ゴスペラーズ特集」  
6月「ヴァンゲリス特集」(6/21・7/14は別番組)

土曜日	19:00(5月17日のみ19:30)
4月5日・19日・26日	
5月17日・24日・31日	
6月7日・14日・21日・28日	
7月5日・12日・19日・26日	

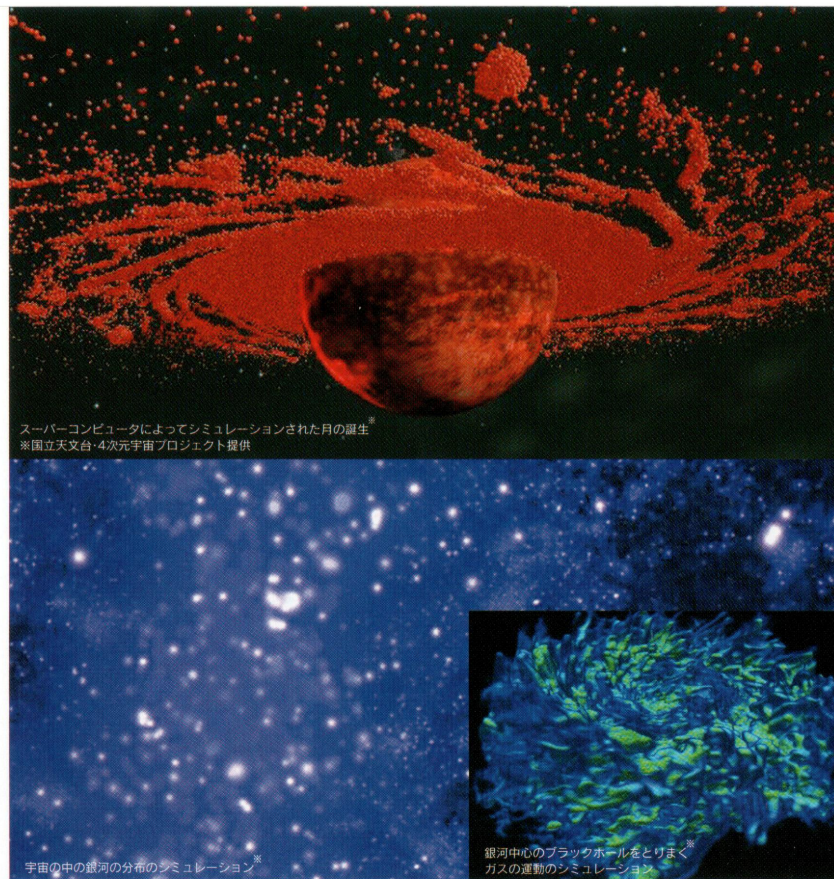
#### ■ 料金 (入館料を含みます)

大人400円/小・中学生150円/幼児50円  
土曜日は小・中学生以下無料

#### ■ 休館日・休演日

月曜日(祝日は開館) / 第2・4火曜日  
5月20日(火)～21日(水) (機器保守点検のため)  
6月25日(水) (臨時休館のため)  
7月15日(火)～18日(金) (番組入替のため)

#### ■ 上映15分前までにご来館ください。



スーパーコンピュータによってシミュレーションされた月の誕生  
※国立天文台・4次元宇宙プロジェクト提供

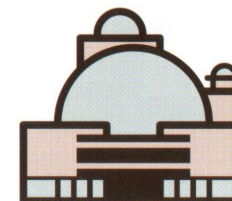
宇宙の中の銀河の分布のシミュレーション※

銀河中心のブラックホールをとりまくガスの運動のシミュレーション

# PLANETARIUM

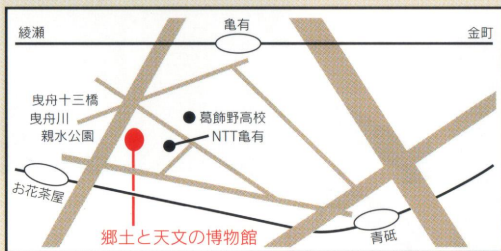
電腦的大宇宙～コンピュータの宇宙が動き出す！～

Vol.48 2003・春



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

#### 交通のごあんない



- 京成線「お花茶屋」から8分
- JR常磐線「亀有」から25分
- 京成タウンバス (有57 亀有-タウンバス車庫) [共栄学園][上千葉小学校] 下車徒歩5分
- 駐車場に限りがございます。電車・バスをご利用ください。

詳しいご案内はホームページにもございます。 <http://www.city.katsushika.tokyo.jp/museum>

葛飾区



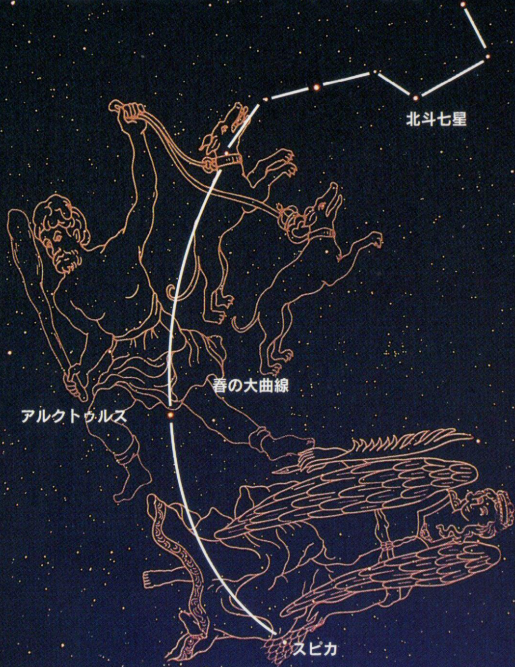
葛飾区 郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

TEL 03(3838) 1101

R100  
このウェブサイトはFlashを使用しています。

# ふたつの麦の星をさがしてみよう。



## ■ふたつの麦の星

春の宵、南の空に明るい星が2つ輝き始めます。金色と銀色にも見えるこれらの星は、世界の別の場所で同じ意味の愛称で呼ばれています。金色の星がアルクトウルズ。『熊の番人』という意味ですが、日本では『<sup>むぎほし</sup>麦星』と呼ばれています。銀色の星はスピカ。こちらは『<sup>は</sup>麦の穂』という意味です。

みなさんは麦畑をご覧になったことがありますか。麦は春から夏に向けて実りの季節を迎えます。<sup>ばくしゅう</sup>麦秋という言葉もありますね。黄金色の美しい穂を風になびかせ、その穂先は日の光に照らされてきらきらと輝きます。アルクトウルズの金色は麦の実った黄金色、スピカの銀色は輝く穂先という

わけです。

## ■麦の星を探してみよう

まずは北の空に輝くひしゃくの形をした北斗七星を見つけましょう。曲がった柄の部分の曲線をそのまま伸ばしていくと、アルクトウルズ、スピカの順に明るい星が見つかります。空に描いたこの大きな曲線は『春の大曲線』と呼ばれています。

アルクトウルズはうしかい座、スピカはおとめ座の、どちらも一等星です。

プラネタリウムでも探すことができますが、ぜひ本物の空で挑戦してみたいかがででしょうか。空の大きさを実感できるはず

# プラネタリウムをささえるコンピュータ

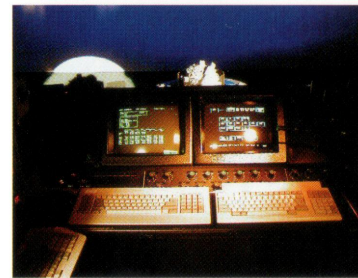
私たちにきれいな星空を見せてくれるプラネタリウム。ただきれいなだけでなく、その時々天体の位置や動きを正確に映すことができます。このプラネタリウムを陰で支えているのは、コンピュータなのです。

## ■プラネタリウムが動くしくみ

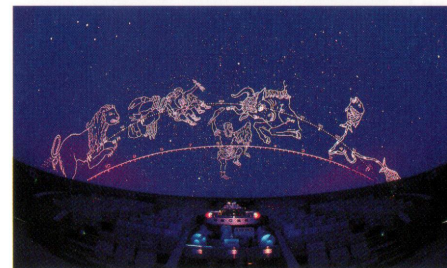
プラネタリウムのドームの下には、大きなコンピュータが置いてある部屋があります。解説席から操作を行うと、コンピュータがその時々星や惑星の位置を計算します。この時、1秒間に何百回も星の位置を計算しているんですよ。

そしてコンピュータは、その結果をもとにたくさんの機械を同時に動かします。まんなかの大きな丸い機械は星座の星たちを映し出し、前の方にあるたくさんの青い機械は太陽、月、惑星たちを映します。空をいろいろな色に染める照明や、流れ星などのさまざまな映写機も動かします。これで満天の星空のできあがり。

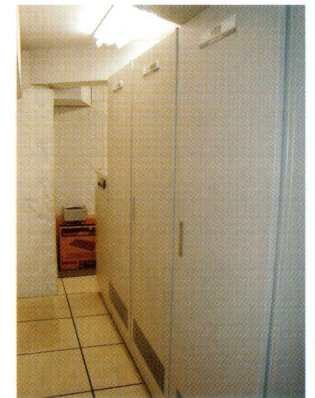
他にも時間の早送り、巻戻しなんてこともできますし、みなさんの生まれた日の星空を映し出すことだってできるんです。



解説席 (コンソール)



プラネタリウム、補助投映機、音響機器、照明機器



コンピュータ



実は博物館の望遠鏡や『すばる望遠鏡』が動くのも同じ仕組み。コンピュータが星の位置を計算してあの大きな望遠鏡を動かしているのです。